

# 令和5年度 第1回 播磨高原広域事務組合 総合教育会議 会議録

招 集 場 所	播磨高原広域事務組合立播磨高原東中学校 図書室	
開 会	令和5年9月27日（水）14時15分	
出 席 者	管理者 山本 実 副管理者 梅田修作 教育長 横山一郎 教育委員 河野雅晴、七條祐正、喜多敦子、竹内久美子	
欠 席 者		
職務のため出席した者の職氏名	事務局長 小谷英樹 主査 井上恵美子	課長 長谷川友和 学校指導員 寺村雅守
議 事 日 程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 管理者あいさつ</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 出席者紹介</li> <li>5 協議事項           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 播磨高原東小学校・中学校の状況について</li> <li>(2) 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（速報）について</li> <li>(3) その他</li> </ul> </li> <li>6 副管理者あいさつ</li> <li>7 閉会</li> </ol> <p>【参考】事前に授業参観、施設見学実施</p>	

(14時15分 開会)

事務局        それでは、令和5年度播磨高原広域事務組合総合教育会議を開催いたします。  
      まず初めに、開会にあたり、山本管理者からご挨拶をいただきたいと思  
      います。  
      よろしくお願いいたします。

管理者        皆さん、こんにちは。令和5年度第1回播磨高原広域事務組合総合教育会議を  
      開催しましたところ、公私ともご多忙の中、お集まりいただきまして、誠  
      にあり  
      がとうございます。

      先日開催されました、本中学校の体育大会に駆け付けさせていただきました。  
      一生懸命子ども達が演技をする姿を見まして感動したところでございま  
      す。

      本年、たつの市内の小学校に通学する全児童に、ランドセル背あてパ  
      ッドを配  
      布いたしました。播磨高原東小学校の児童にも配布しております。報道  
      等でご存  
      知だと思  
      いますが、大変反響がありまして、各方面から多くの意見を頂戴した  
      と  
      ころでござ  
      います。9月下旬になりましたが、まだまだ熱中症に警戒しなければ  
      な  
      らない状  
      況が続  
      いてお  
      ります。引き続き、健康管理に注意しながら、安心して  
      学  
      校生活  
      を送  
      って  
      いた  
      だ  
      き  
      たい  
      と考  
      えて  
      お  
      り  
      ま  
      す。

      本日の総合教育会議は、教育委員会と相互の連携を図りながら、地域の教育課  
      題を共有し、播磨高原の教育について考えて参りたいと思っておりますので、よ  
      ろしくお願  
      い申  
      し上  
      げ、  
      挨拶  
      とさ  
      せ  
      て  
      い  
      た  
      だ  
      き  
      ま  
      す。

事務局        ありがとうございます。  
      続きまして、横山教育長より、ご挨拶をお願いいたします。

教育長        皆さん、こんにちは。今、子ども達の様子を見てですね、1年生、2年生、3  
      年生、また特別支援学級の子  
      ども達も  
      良い雰  
      囲気  
      で授  
      業を  
      受  
      けて  
      お  
      り、  
      また、  
      先  
      生  
      と  
      の  
      繋  
      が  
      り  
      が  
      見  
      え、  
      そ  
      れ  
      が  
      第  
      一  
      感  
      で  
      ご  
      ざ  
      い  
      ま  
      す。  
      今日  
      の  
      総  
      合  
      教  
      育  
      会  
      議  
      に  
      お  
      き  
      ま  
      し  
      て  
      も、  
      昨  
      年  
      は  
      小  
      学  
      校  
      を  
      見  
      て  
      い  
      た  
      だ  
      い  
      て、  
      今  
      年  
      は  
      中  
      学  
      校  
      と  
      い  
      う  
      こ  
      と  
      で、  
      実  
      際、  
      子  
      ど  
      も  
      達  
      の  
      様  
      子  
      を  
      見  
      て  
      い  
      た  
      だ  
      き  
      な  
      が  
      ら、  
      色  
      々  
      と  
      ご  
      意  
      見  
      を  
      い  
      た  
      だ  
      け  
      た  
      ら  
      と  
      思  
      う  
      次  
      第  
      で  
      ご  
      ざ  
      い  
      ま  
      す。  
      よろ  
      し  
      く  
      お  
      願  
      い  
      い  
      た  
      し  
      ま  
      す。

事務局        ありがとうございます。  
      本日ご出席の方ですが、お手元に配布しております座席表をご確認いた  
      だ  
      き  
      ま  
      す  
      よ  
      う  
      お  
      願  
      い  
      い  
      た  
      し  
      ま  
      す。

      それでは、次第により、(5)協議事項に入らせていただきます。ここからは、  
      山本管理者に議長をお願いしたいと思います。管理者、よろしくお願  
      い  
      い  
      た  
      し  
      ま  
      す。

管理者        それでは、進行役を務めさせていただきます。ご協力をよろしくお願  
      い  
      い  
      た  
      し  
      ま  
      す。

次第に基づきまして、協議事項に入ります。

(1) 播磨高原東小学校及び中学校の状況について、事務局より説明をお願いします。

事務局

本日配布させていただいております冊子の1ページをご覧ください。右上に「資料1」と書いてあるものでございます。(1) 播磨高原東小学校及び中学校の状況でございます。

まず、小学校の状況についてですが、(1) 職員数につきましては、21名となっております。

(2) 児童の状況につきましては、9月1日現在におきまして、普通学級6クラス、特別支援学級2クラスで、児童数53名となっております。4月以降、転出や転入児童もございましたが、学校生活にも慣れてきており、教職員も含め明るい学校運営ができております。そのため、学習面において個人差はありますが、落ち着いて授業が行えており、生活面においても個々諸課題はありますが、報告が必要な大きな問題行動はありません。

なお、本年度、1年生特別支援学級に入学した児童があり、特に支援が必要でありますので、介助員を1名つけております。①教育補助員の2名のうちの1名でございます。その児童については、日を重ねることで、日々成長が見られていると学校から報告を受けております。

また、6年生が明日、明後日ですが、28日(木)、29日(金)と奈良・京都へ修学旅行を予定しております。

続きまして、2ページをご覧ください。播磨高原東中学校の状況でございます。

(1) 職員数につきましては、16名となっております。現在、1名の長期の病気休暇を取得している者がおりますが、授業については、臨時講師が行っております。

(2) 生徒の状況につきましては、9月1日現在におきまして、普通学級3クラス、特別支援学級2クラスで、生徒数36名となっております。1名、不登校の生徒がおりますが、学校生活は落ち着いた状態であり、問題等についても小学校同様、報告が必要な大きな事例はございません。学力面でも運動面でも、日々の取り組みの成果が発揮されております。

部活動におきまして、卓球部男子団体が西播大会に出場しました。また、1年生の女子生徒が水泳の100mと200m平泳ぎで、西播大会で優勝し、県大会においても200mで9位と、今後が期待されます。

また、今月16日に体育大会を開催いたしまして、皆様にご出席いただきまして、ありがとうございました。無事に終了しております。

続きまして、3ページの学校の概要でございます。②に、児童生徒数の推移を記載しております。児童生徒数につきましては、平成20年代前半をピークに年々減少が続いております。

次の4ページには、播磨高原東小学校から、他の中学校へ進学した児童数を記載しております。ここ数年、数名、児童数に対して1名から3名ほどの児童が、

県立大学附属中学校もしくは白陵中学校へ進学しております。

続きまして、5ページ、(4)小中一貫教育に移らせていただきます。資料につきましては、令和4年度の成果と課題、令和5年度の主な取組について記載しております。

小学校及び中学校においては、令和3年度から、小中一貫教育を推進しており、小中の連携を深めております。本日、会議前に授業をご覧いただきましたが、中学校教諭による小学生への授業や、昨年度、ご覧いただきました小学校における「外国語」、中学校の「英語」、また、先ほど、校長先生からご説明がございました「光都論文」につきましても、小学生も「ミニ光都論文」に取り組むだけでなく、途中段階においても、中学校へ行き、学ぶ姿を見ております。

成果としまして、小中学校ともに教職員が意識の高まりを感じるだけでなく、児童生徒にとっても良い状況が生まれております。小中学校の教諭間の連携におきましても、以前と比べて意見交換や情報交換がしやすくなるだけでなく、GIGA スクールのタブレット等を使用しまして、相互の先生が情報共有できるツール等も使用しております。

今後も継続可能で取り組めるよう、各種会議で成果と課題を整理し、交流を行うと共に、教育委員会事務局としまして、より良い環境を支援できるよう引き続き取り組んでまいります。

なお、参考資料としまして、今年度の小学校、中学校の学校だよりを本日机上配布させていただいております。

小学校・中学校の状況についての説明は、以上でございます。

管理者 事務局からの説明が終わりました。委員の皆さんより、ご意見をいただきたいと思っております。

委員 現在、中学校3年生が18人、2年生が10人、1年生8人ですけれども、来年からは10人前後ですが、大体2人ぐらい抜けてしまう可能性があるかと。これから先はずっと1ケタ、10人弱ですね。中学校において、学年の違いはあると思いますが、20人弱の3年生と、10人前後の1・2年生では、授業のやりやすさ、やり方で違いが出てきているのでしょうか。

事務局 先日も学校に確認させていただき、校長先生から伺ったのですが、18名と10名前後の違いであれば、進め方については大きな違いはないとのこと。ご覧いただいたとおり、TTと言いまして複数の先生が授業に入るなど、きめ細やかな指導を行っている聞いております。

委員 先生方にも戸惑いですとか、大きく変えることはないということですか。

事務局 そのように聞いております。

委員 現在、小学校の学童保育を旧西栗栖幼稚園でされているとお聞きいたしました。保護者の方から不安の声をお聞きしたのですが、令和10年に新宮地域小中一貫校が開校するという事で、播磨高原の方の学童保育はどうなるのかというお声をお聞きいたしました。それが1点と、またその時同時に、放課後子ども教室はなされないのですか、という風にお聞きしました。たつの市の方もなくなっていた状況なので、今現在どのような状況なのかをお聞きしてもよろしいでしょうか。

事務局 まず、学童保育でございますが、先ほど●●委員がおっしゃったように、この児童につきましては、たつの市が実施しております西栗栖放課後児童クラブを利用させていただいております。今後、新宮地域小中一貫校の計画が進む中、西栗栖放課後児童クラブの存続の有無を確認していきながら、子育て支援が滞らないように前向きに検討したいと考えております。

放課後子ども教室につきましては、文科省、社会教育課の方の事業でございますけれども、たつの市の方も過去3年、現在も実施していない状況でして、令和10年になった際に、もしくはこちらで子育て支援をする際には、そういったところも踏まえて検討していきたいと思っております。

委員 中学校で不登校の子、ずっと続いていると思うのですが、良くなる兆しはありますか。

事務局 現状ですけれども、週1回程度、担任が家庭訪問を行っております。現在3年生で、大切な時期でありますので、進路について今後どうしていくかということになるかと思っております。本人から、どこの高校へ行きたい、オープンハイスクールに参加したいという申込があったと今日聞いております。ただ、学校には登校できていない状況ですので、引き続き学校やスクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携を図りながら、状況等を注視していけたらと思っております。

委員 上手く進路に絡めた指導を行っていただけたらと思っております。引き続き、よろしくをお願いします。

教育長 今、●●委員がおっしゃったところですが、その生徒にはタブレットは持ち帰らせていないのですか。

事務局 現状は、持って帰っていないと聞いています。

教育長 そうですか。週1回、担任の先生が行かれているということなのですが、タブレットで繋いで、毎日顔を見て健康確認も兼ねると言いますか、コミュニケーションが取れるので、タブレットを自宅で使うということも学校から子どもや保護者に働きかけていただけたらどうかと思っております。高校進学のあるというこ

となので、進学に向けてこういう点を頑張っていかなければいけないですとか、情報を伝えていかなければいけませんので、タブレットが有効かと考えますので、学校へ働きかけてもらえたらと思います。

事務局 分かりました。

委員 ●●委員と同じような内容になってしまうのですが、先ほどの質問に対して、授業は良好な感じで進んでいるという回答だったかと思うのですが、学習面では良い雰囲気であると、先ほど見せていただきまして感じました。が、学校の中での人間形成、関係づくり、色々な経験を積んでいくという点では、ある程度人数がいる方が子ども達は育っていくのではないかという思いがあります。行事に関しては、先日、体育大会を拝見させていただいて、すごく工夫されて取り組んでいただいているなという風に感じましたが、子ども達がずっと出ている状況で、生徒の皆さんは大変だったのではないかなと感じました。その部分は工夫してくださっているので感謝していますが、人間形成、そういったところに関してはどのような努力をされているのか、もし分かれば教えていただきたいです。

事務局 行事等につきましては、小中一貫教育を絡めまして小中学校が連携しながら、中学生と小学生で行事に取り組むなど、異年齢での交流が実施されていると聞いております。ただ、●●委員がおっしゃるように、学年によっては、男の子、女の子が少ない人数で過ごしている学年もございます。そこには、私達が分からないような諸問題もあるのではないかと考えています。そういった点には、先生方が、児童生徒に寄り添い、ケアしながら努力してくださっていると聞いております。多くの人数で交流することによっての学びにつきましては、近隣の、例えば西はりま特別支援学校との交流ですとか、そういったところも有効に活用しながら運営していけるように学校も頑張ってくださいますので、我々も後方支援していけたらと思っています。

委員 上郡町も中学校が一枚校ですので、やはり中学校の中で形成されてしまっていて、高校生になって町外の生徒さんと一緒に学ぶとなった時に、力が弱いとよく言われています。この学校は少人数ではありますが、地理的にもなかなか外には出にくいと思いますので、色々工夫していただいて、校外学習なども取り入れていただいていますので、その中で他校の生徒さんとの交流ですとか学びの場で力をつけていっていただければと思います。

事務局 小学校との校長先生とも先日話をしておりまして、高原東小学校だけでは、これは中学校もそうなのですが、一つの学年だけでは少ない人数で学校運営を行っておりますので、来年度以降、他の学校と合同で行事を行う、例えば校外学習ですとか、内容は今後検討していくこととなりますが、他校と協力しながら行事に参加できるような状況を作っていけたらと聞いておりますので、我々も支援して

いけたらと思っております。

委員           もう1点よろしいですか。●●委員がおっしゃっていた放課後子ども教室の件で、小学校の状況がよく分かっていない中での質問で申し訳ないのですが、学年によって下校時間がまちまちになるようであれば、児童の安全確保のためにも高学年と一緒に帰るまでの間を利用して放課後子ども教室を開き、その中で、学習に取り組む、遊びを取り入れるといった工夫はできないものなのでしょうか。

事務局           おっしゃられましたように、上郡町さんの放課後子ども教室が始まった時、学校が統廃合になった際に、低学年の子どもが帰るのを待つ時に地域の方が見守りを図ってという感じで進められていたということを知ったことがあるのですが、遠方の方に帰られるスクールバス利用のお子さんというようなことでも、そのように聞いておりますが、こちらの子どもの場合は、通学までの距離や時間もございますので、その辺りも確認しながら、需要があるかないかも含めて考えることができればと思っております。

委員           ●●委員が言われていました、体育大会で皆さんがずっと出ておられるというところで思い出したのですが、私の感想なのですが、閉会式は皆さん座られて、子ども達は聞いておられたのですが、開会式では帽子を被らない状態で、皆さん立っておられていたので、座ってでも良いのではないかなと、こういう意見もありましたぐらいでお伝えいただけたらと思います。

事務局           学校長に伝えさせていただきます。

委員           小中一貫の説明がありました。今日の感想もあるのですが、一番最初に見せていただいた小学校5年生の授業、私、ちょっと質問させていただいたのですが、あの先生と子ども達は初対面らしいですね。だけど、一番最初に見に行ったから会って数分だったと思うのですが、きちんと授業が成り立っていて非常に感銘を受けましたね。小中一貫については、たつの市も中学校区ごとに多少は形態が違いますけど、これから進んでいくことにはなりますが、やはりこちらの方が一歩先んじているというイメージがあります。ぜひ、モデルケースにさせていただけるように、とは言え、全部が全部そのまま移植できるわけではなく、いいとこどりにするとは思いますが、そういうことで、先を走っているという気概を持って取り組んでいただけたら、なお良いのかなと思いました。

管理者           他に何かご意見等ございますか。よろしいですか。  
それでは次に進めさせていただきます。協議事項の(2)令和5年度全国学力・学習状況調査の結果(速報)について、事務局より説明をお願いします。

事務局           それでは、配布資料の9ページ、「資料2」をご覧ください。

協議事項(2)の令和5年度全国学力・学習状況調査結果の速報でございます。4月18日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施されました。

小学校におきましては、国語、算数の2教科で、第5学年までに学習しました資料記載の出題内容によるもので、9人が受験しました。速報によりますと、2教科とも、基礎的な内容、応用的な内容ともに全国平均を5ポイント以上上回る、良好な結果でございました。

中学校におきましては、国語、数学、英語の3教科で、第2学年までに学習しました資料記載の出題内容によるもので、18人が受験しました。速報によりますと、3教科とも、基礎的な内容、応用的な内容ともに全国平均を7ポイント以上上回る、良好な結果でございました。

小学校、中学校ともに、記述式で回答する問題におきまして、良い結果が出ております。現在、両校ともに、結果の分析、検証、その分析を踏まえ、今後の教職員の指導力向上、指導内容や指導方法の改善を図り、校内研修等を適切に実施するため、取り組んでいるところでございます。以上でございます。

管理者 事務局からの説明が終わりました。委員の皆さんより、ご意見をいただきたいと思っております。

委員 今年はまだ問題を見ていないのですが、いつも思うのが、こういう問題で良いのかなと、専門家ではないですけれども少し思ったりするわけです。今年話題になったのが、中学校の英語で、スーパーでレジ袋を有料配布していることについて、英語で聞いて意見を述べなさいというものなんです。何も書いたものはないんですよ。すごく難しいですよ。

この問題には、問題点がいくつかあって、一つは、スーパーで有料配布なんて今の話題ではなくて、子ども達はあまり興味がない。5年前、小泉さんが環境大臣だった時代ですよ。その時は意見があったかも知れないですけど、今は当たり前すぎて分からない。それから、英文の中で、レジ袋のことを「plastic bag」と書いてあるんですが、「plastic bag」と聞いて「レジ袋」と分かるかどうか。分からなかったら、どうしようもないんですよ。一つの単語についての知識だけで、問題全部が左右される。

さらに言えば、この問題、イエスで答える子は答えやすいんですよ、それは良いことだ、私にもできることだ、と。仮にノーだった場合、レジ袋ではなくて、もっと他のところで頑張らないといけないとか、それを説明することはかなり難しいんですよ。そういう信条的なことを聞くような問題を出すことはだめだろうということを思いました。去年も理科の問題で悩んで、教育委員が誰もよく分からないとかね。だから、そのような中で点数が良かったことは非常に良いと思うのですが、これが全てであるとは思わなくて、あまり左右されない方が良さそうですね。

さらに言えば、今日、授業を拝見したりとか、光都論文の話を聞いたりしたら、コンピュータとか、ICTを使って授業を進めていく。そのICTの技術、プログラ



ミングの技術を身につける、授業では進んでいるけれど、それををはかる試験になっていないんですよね、この学力調査もそうですし、それからおそらく高校入試も、入試の現場にパソコンを持ち込むことはないでしょうから、結局鉛筆なりで書くわけですよね、授業で一生懸命これをやっているのに。そういうことで、せめて学校の定期テスト、中間や期末テストは学校の授業と連動した形で、パソコン、ICTを使ったような試験ができればと思います。現状では、授業の方が進んでしまっていて、それををはかる、こういう試験や入試がね、それに見合っていないような気が非常にするんです。だから、難しいですけど、受験に出ないからしなくていいのかと言うと、そうではなくて、受験側、試験側が追いついていない状況ですけども、やっぱりそれはきちんとパソコン、プログラミング技術を身につけていくということを常に励ましていくようにしていただきたいと思います。そうでないと、一生懸命やって、学校ではそれで良いけれど、実際それををはかれる、自分の技能をはかれる時に、絶対そこを見てもらっていないと、そういう風に思われる可能性が非常に高いと思います。過渡期だと思うんですよ、ここ2、3年はね。難しい時期だと思いますが、引き続き尽力していただければと思います。

管理者 他に何かございませんか。

委員 今、タブレットの話が出たのですが、子どもがタブレットを使っていて、タッチパネルと言うんですか、指で操作していて、小さい頃から。それで、打つ方(=タイピング)、入力あまりできていないということを感じます。入力の方も基礎的な、指の定位置があるといったところ、そういうようなところもどこかで勉強ができたらと思うのですが、ここはできているのですか。

事務局 小学校につきましては取り組んでおまして、中学校は少し遅かったということで、今年度からしっかり取り組もうということで、先ほど校長室でもお話がございましたが、ICTに非常に積極的な校長先生でおられますので、取り組んでいっているということは聞いております。毎日のようにタブレットの持ち帰りも実施し、使えるような状況、環境を作っている状況であると聞いております。

委員 タブレットを使いこなすということの中に、文字入力だけでも基礎的なこと、今はスマホなどでも指、両手で上手に入力しますが、本当の入力のことになると分からない、自己流でやっているから基礎的なことを教えてあげる必要があるのかなと思います。

委員 文字入力の関係のことで、文字入力はすごく大事だと思うんですよ、キーのタイピングですよね。それをやってもらいたいのですが、それもね、文章を作る時に日本語にしる英語にしる、おそらくここにいらっしゃる皆さん、文章を作る時は、まず手書きでしませんよね。最初からパソコンで打ち始めますよね。学校で

も文字入力を教えたらどんどんそうになっていくと思うのですが、ある程度文章を作ってから、順番がおかしいからカット&ペーストで順番を入れ替えたりね。そういうやり方で文章を作りますよね。おそらく子ども達もそういう風になっていくんだと思うんですよ。だけど、試験になったら急に、白い紙と鉛筆を持たせて最初から書かされるんですよ。ここの部分を後ろに回そうと思っても、全部消しゴムで消さないといけない。そういうことも、非常にね、文字入力が必要なのに、それをやる試験の方がなかなか追いつけないということは課題だと思います。

管理者

他に何かございますか。

ご意見がないようでしたら、一つだけ私も言わせていただきたいのですが、学力テストが素晴らしいということをおっしゃっていましたが、学力テストの結果が良いということをもっと出したらダメなのではないでしょうか。たつの市役所では結果は非公開にしています。私は出しても良いと思うのですが、教育長はそうではないところもあるらしく。と言うのは、これだけ良い点数で、全国平均を上回っている、この播磨高原東小学校と中学校は、そういう風に学力の高い学校なんだということをもっとアピールしたら良いと思うんですよ。そうしたら、ここへ来て勉強しようかなという子どもも出てくるかも知れませんし。そういうことで、良いことですので、もっとアピール、発信していけば良いと思います。

事務局

今おっしゃっていただきましたように、学校が一小一中でございますので、点数を公開すると、それがそのまま、まさにここの学校の成績になるということで今までは非公開ということにしておりましたけれども、そういうご意見もあるということです。

管理者

近隣では、相生市が公開していると思います。相生市は広報に出しています。

事務局

宍粟市も出しています。

管理者

宍粟市もですか。おそらく公開されている市町は、成績が高いのかと思いますが、そういうところも一度検討していただけたらと思います。

他に何かございませんか。

ないようですので、次に進ませていただきます。(3) その他ですが、委員の皆さん、何かご意見がございましたらお願いしたいと思います。

委員

今日の授業を見せていただいて、この内容、時間割のようなものを事前に頂いている方が良いかと思いました。何の授業をされるのかが分かりませんので、指導案までは求めませんが、授業内容が分かるようなものはあると良いと思います。

事務局

指導案までは作らなくても良いということは学校に伝えていたのですが、準備

不足でした。次回からそのようにさせていただきます。

教育長       ちなみに、授業を見られた感想は。

委員         落ち着いた雰囲気、ここの少人数ならではの授業が展開されていたと思います。

教育長       先ほどありましたが、中3の生徒が、全国より7ポイント以上高いという説明があったのですが、みんなが7ポイント高いわけではなく、すごく高い子どももいれば、なかなかそこへいけない子どももいます。そういう能力差があっても教室の中でみんな同じように勉強しているという状態です。2年生には自閉・情緒学級の男の子が一人いたのですが、その子も学力的には全く問題ないので、英語もみんなと同じように勉強して、新幹線は英語で何と言うのでしたか。

委員         「bullet train」ですか。

教育長       「bullet train」を「pretty train」と聞き間違えて、笑いを取っていましたね。

小学生も5ポイントと言いながら差があるのですが、毎日、上手く授業が成立しているようで、非常に良いなと思っているところです。

委員         教室を見せていただいて、2年生の教室の後ろに、進学校のパンフレットが2年生の教室だけ並んでいたんです。3年生の教室にはなかったのですが、もしかして3年生の子ども達は既に進路を決めてしまっている状態なのかな、と思ったのですが。早いことは良いことだなと思ったのですが、3年生に上がる時にはもう決まっているのですか。

事務局       夏休み中にオープンハイスクールなどにも参加しますので。

委員         そうですね、夏休みにありますよね。大体皆さん方向性を決めておられるのでしょうか。素晴らしいなと思いました。

管理者       他に何かございますか。

委員         先ほど管理者がおっしゃった学力テストの結果公表ですが、逆に一小一中だからかえって公表しても良いかも知れませんね。あれは公表したらどうかというのは、結局、公表したら学校間格差が出てきて、学力テスト向けの事前勉強をする、本来の学習ではなく小手先の方に走ってしまうのが嫌で、文科省はそれを抑えるために公表、あまり比較をしないということだったかと思うのですが。一小一中だから、あまり問題がない気もするし、結果オーライの時は発表したら良いので

はないですか。でも、一度公表し始めると、止められないですもんね。そこは見極められたらと思います。

それから、最初に校長先生がおっしゃっていた出前授業ですが、講師は企業の方かなと思うのですが、潤沢に協力してくださる感じなのですか、それとも人を集める、依頼するのが大変な状況なのでしょう。

事務局 伝統的に企業をはじめ、色々なところから案内があるなど、人探しに困ることはないと聞いています。

委員 企業側も地元貢献のためにやらないといけないというところがあると思うんです。ですので、どんどん話を持って行ったら、どんどん出してくれると思いますので遠慮せずに、引き続き、それがこの地域のメリットだと思いますので、どんどんやっていただけたらと思います。

管理者 他に何かございますか。よろしいですか。  
それでは、先ほど、東小学校、東中学校のそれぞれの児童生徒の推移について説明がありましたが、今後の見通しについて事務局から説明をさせます。

事務局 今後の児童生徒数の見通しにつきまして、資料を配布させていただきます。

#### < 資料配布 >

事務局 配布させていただきました資料をご覧ください。令和5年7月末現在において、令和10年度までの児童生徒の見通しにつきまして、一覧表にしたものです。

現在の住民基本台帳人口から記載しておりますので、必ずしも当該年度に、この児童生徒数となるものではございません。現在、小学校が53名の児童、中学校が36名の生徒が在籍しておりますが、令和10年度には、小学校の児童数が20名、中学校の生徒数は28名となります。以上でございます。

管理者 これにつきまして、何かご質問等ございましたらお願いします。

委員 令和5年度の小6が9名ですが、令和6年度の中1が10名と1名増えている。あとは、令和8年度の小6が9名で、令和9年度の中1が10名となっているのですが、これはなぜ増えているのですか。

事務局 校区の関係で、小学校の校区がそのまま中学校の校区ということではなく、中学校では新宮町下筋原地区が校区に入ってきますので、その関係で人数が増えています。

教育長 下筋原地区は、小学校は西栗栖小学校区なのですが、中学校は播磨高原東中学

校に上がってくることになっています。

委員 　　ただこれも、小学生が全員、播磨高原東中学校に進学すれば、という話ですよ  
ね。

事務局 　　そうです。

委員 　　何人かは別の中学校へ進学する可能性がありますね。

事務局 　　資料の4ページにあったのですが、毎年1名、ないし2名ほどは他校に進学さ  
れています。

教育長 　　それから、光都学園の子ども達が小学生で約12名、中学生で約6名ぐらい、  
中高で大体12名受け入れているということがあるので、抜けていった数がある  
まま抜けていって、というカウントにしています。卒業した時に、今度何年生の  
子どもが入ってくるかは分からないし、入ってくるかどうか分からないので、  
光都学園の子どもは基本的には今いる子どもたちの数がどんどん抜けていくと  
いう計算です。特に小学生なども令和10年には20人ということになっています。  
令和10年には中学生より小学生の方が少なくなります。

管理者 　　こういう状況の中で、保護者から学校や教育委員会へ対して意見が寄せられて  
いると思いますが、事務局から説明していただけますか。

事務局 　　小中学校の保護者会の役員の方々から、たつの市の新宮地区の小中一貫校が計  
画されるということで、児童生徒数が減ってきておりますので、その中で、組合  
の小中学校の今後の在り方を聞かせてほしいという要望を受けまして、本年7月  
に東小学校におきまして、小中学校の校長、教頭を交えて、役員4名の方と意見  
交換をさせていただきました。その際、お話をさせていただきました内容につきま  
しては、構成市町との協議も行っておりませんので、事務組合の方針が定まって  
いない中、回答させていただきました。

　　まず、その時の保護者の方からのご意見、ご質問なのですが、今後、組合立の  
小中学校はどういう風な選択肢、どのような在り方の選択肢がありますか、とい  
うご質問がありましたので、私の方から考えられるものとしては4つのケースが  
あるのではないかとということでお話させていただきました。

　　組合のみで考えられることとして、まず1点目、現行のまま小学校も中学校も  
存続させる、2点目は組合立の小学校、中学校のどちらかの校舎を使って、施設  
一体型の小中一貫校にする。どちらかの校舎の一つに集めてしまう。組合で考え  
られるのは、この二つであるとお話しました。次に構成市町を含めた場合で考え  
られるのが、それぞれの住所地、たつの市新宮町と、上郡町の学校に通学するこ  
と。それと、ここの組合立の児童生徒全員が、現在の学校の所在地、これがたつ

の市新宮町ですのでそちらの学校に全員が通う。構成市町を含めた場合については、この二つであるとお話しして、合計四つの考え方があるのではないかとご説明をさせていただきました。その際には、文科省が作成しております手引きがあるのですが、その中で学校の望ましい学級数であるとか、小規模校、少人数学級、ここのように10人以下のような学級がある場合、複式学級などの問題点、小規模校についてはメリット、デメリット、そのようなこともご説明させていただいて、あとは近隣市町などが作成しております適正規模・適正配置の計画内容についても少しご説明させていただきました。

その中で、保護者の方が言われたのが、この学校の在り方はどのようにして決まりますか、という質問がありました。また、決めるに際して、保護者の意見は何パーセントの要素になりますか、という質問がありましたので、保護者・地域の意見は重要だと思いますが、現時点では決定方法も決まっておりませんという回答をしております。その他、佐用町の三日月小学校も児童数が減少しておりますが、東小学校に通うようになりませんか、というような質問もありまして、それは難しいと回答させていただきました。

あとは、この都市内での住宅販売実績についてもご質問がありましたので、過去3年において、年度別に1軒、1軒、2軒、この3年間で計4軒の販売がありましたと回答させていただきました。

役員の方のみのご意見ではありましたが、学校の存続を希望されているように感じました。役員さんとお話させていただいた内容については以上になります。

管理者           ご意見、ご質問等がありましたらどうぞ。

委員             三つ目と四つ目をもう一度お願いできますか。

事務局           三つ目は、それぞれの住所地にということですので、こちらには、たつの市新宮町の方と上郡町光都の方が通学されていますので、それぞれの住所地、新宮の方は新宮へ、上郡の方は上郡の学校へ行くパターンです。四つ目は、学校がたつの市新宮町区域にありますので、所在地がたつの市新宮町ですので、全員がたつの市の学校へ通うというパターンです。

委員             分かりました。

委員             今、教育委員会として、こういう方法があるという紹介がありましたが、教育委員会、教育だけ、そういう関係だけではなく、以前も話したことがあるように企業庁が、この光都をどういう風にしていくのか、そこの大きな問題ですよ。

例えば、前も言ったのですが地価が高い。それを安くしないと新しい人は入らないと、以前、ひょうご環境体験館にいましたのでね、会議の際に発言したのですが、「地価を安くしたら、先に入っている人が怒るからできない」と言われた

んですよ。それだったら、いつまで経っても変わらないと思っていたら、最近入ったニュースによると安くなっただけ。最近入った人が「安くなったんや」と。だから、そういうことを含めて、この都市をどう持っていくかということを経営者も含めたところでも話をしながら、教育関係者も連携を取って検討していくようにしないと難しいですよ。

委員　　つい先日、朝日新聞を見ましたけれども、このテクノだけではなくて兵庫県のやっている地域整備、土地代の企業債が768億円あって、払えなくなりそうだという記事がありました。すごく後ろ向きというか、はしごを半分外されているような記事が載っていて、兵庫県はどう考えているんでしょうね。どうって、ここで誰に聞いても分からないんですが、あんな記事が出ること自体、実際、神戸の震災で兵庫県も財政的にはとても厳しいのだとは思いますが、なんだか手を引きたそうなイメージを受けてしまうような記事が出ていたので、すごく心配になりますよね。

管理者　　企業庁の管理者と話をしてもね、なかなか前向きな話ではないんですよ。例えば、今言われていましたが、テクノをどうしたいのか、とか、そういうところは、なかなか前向きではないんです。前向きな姿勢はないけれど、後ろ向きな姿勢でもない。

委員　　一番困りますね。

管理者　　我々も組合を組織していて、小学校、中学校の子どもがいなくなったら、市や町があそこの組合を組織する必要はないのではないか、と。要するに、企業庁がこのまちを管理したら良いのではないかと、というような極端な考えがあるんですよ。あと、斎場や色々なものはありますが、組合が管理しているものがね。小学校、中学校の児童生徒が、今言っている地域に帰ってしまったら、人数が少なくなって地域に下りてしまったら、本当に組合組織、多くの人間を集めて組織しているのですが、その必要はないし、そうしたらどうしてくれるんだと言うと、それ以上の話はないです。なかなか難しい。そのうえ、また、768億円の件が新聞に出たわけで、それを聞いたら、テクノの方は少ないんです、と。三木市の方が多いいんです、というような話もされていました。どっちが本当か分かりませんけどね。

委員　　新聞記事では「テクノなど」と書いてあったので、すごく心配になりますよね。

管理者　　我々がよく言うのは、バスのターミナルができましたね。あそこへ色々なお金を突っ込んでいるのですが、その割に全然活性化がないと。バスを誘導して何かするんだ、と。どこのバスも入ってこない。かなりのお金をかけてやっているんですよ。三宮へ土日1本だけ、神姫バスと提携してバスを出しているそうですが、

1日1人か2人か。

事務局 1日1人です。1本に1人です。

委員 1本に1人ですか。

管理者 全然話にならない、考えられない。企業庁がやってくれる事業が、どうも我々の考えとは違うようなね。あまり、そういう説明がないんですよ、実は。それを企業庁が単独でパツとしてしまうのでね。だから、あの大きな広場にアウトレットとか、例えば、日本一の道の駅を作るとか、何かして、あれだけの敷地があるのだから何かそこへ集めるようなことをしなければ絶対人はこのまちへ来ませんよ。それで、今、コープがなくなるかも知れないということで、ゴタゴタしていますしね。そういうことがあったりして、マイナスの話ばかりです。子どもは減っていきますし、非常に大変な状況です。

今度、SPring-8がかなりのお金を入れて改造しますよね。そういうところもあるのだけれど、色々な学者や研究者が来るのかと言うと、それも未定ですし。

バスの自動運転など県は色々とやってくれるのですが、国の補助金がつかなかったからしない、とかね。

今、西播磨環境の方へ造成したところがあるのですが、佐用町の企業団地にして企業を呼ぼうかという話も少しあるらしいですけどね。結構ね、たつの企業にふるさと納税のお礼に一宮電機などに行くのですが、結構人がおられるんですよ。200人ぐらい。テクノを買ってくださいと言っても、やはり「高い」とおっしゃるんです。それと「交通の便が悪い」と。海外から一宮電機へ来ている方が10人ぐらいおられるそうで、自社で宿舎を作ると。宿舎をテクノに建てたい、一つのところで管理ができる、と。でも買い物をするところがないですよ、と言うとコープまで自転車で行くと、そんな構想もあるようです。外国の方に来ていただいて仕事をしていただくのは良いことですしね。そのようなことを企業庁と色々話をしてみるのですが、なかなか前向きな話ではないです。

事務局 今の一宮電機のお話を管理者に教えていただいて、ちょうどその後、コープの関係の集まりがあり、自治会さんや企業庁さんが来られる会なのですが、そこでぜひ言っておくと。これからもコープがないと困ると言われる方がおられるから、企業庁に言えと、地元の方からも言ってくださいと、良い情報を出させていたのですが、今、ここ毎月の売り上げは目標値を超えているということで、勿論学校もそうですし、売り上げに協力させていただいて、残っていただけるように、都市内の企業にも、我々も僅かですけれども売り上げに貢献させていただいております。

管理者 飲食店はまだありますか。



事務局 はい、光都プラザ内にあります。

管理者 ファミリーマートは、かなり人が入っていますね。

事務局 元々は、コンビニに来てほしい、という思いと、コンビニが来たらコープの売り上げが減ってしまうという、平成20年ぐらいまではそのような話だったんです。コンビニが欲しいというのが、常にこのまちの中での要望になっていましたので。

委員 本当に、なかなかしんどい話ですが、市長も町長もおられるので、その辺りのこれからの構想のことも含めて、学校をどうしていくかということを考えていかなければ、なるようになるだろうでは積極的な話にならないですよ。

委員 保護者さんは、どのように考えてらっしゃるのかご存知ですか。少人数でも存続してほしいと思われているのか、それとも大きなところで頑張ってもらいたいと思われているのか教えていただきたいのですが。

事務局 先ほど申しあげましたように、役員の方々は残してほしいというご意見のようです。中には、子どもの人数が少ないので、子ども同士の間関係ですとか、大きいところに、というようなお話をされる方もいらっしゃいますが、なかなか全員のご意見というところまでは耳には届いていないのですが、両方の意見があると思います。

委員 保護者さんもすごく不安に感じておられるのかなと思われるので、色々な意見を吸い上げていただきたいと思うのと、それから、学校現場としては、有効な教育ができると、そこまでは言い切れないかも知れませんが、適正な人数というのはあると思いますので、保護者の皆さんに見ていただくのも必要ではないかなとも思ったり、子どものためにこの教育現場が果たしてきっちり機能されているのかどうかということも含めて考えていかないと、本当に近々の話なので、現在学校に通っている子ども達にしたらリアルな時期なので、人口を増やすっていうことはすごく大事なことだとは思いますが、そこを望んでというか、本当に長いスパンで考えていかないと。なので、少ない人数でできるっていう特色をどんどん伸ばしていくとか、何か良いところを引き出していかないと、保護者の皆さんも子ども達もなかなか納得いかないかも知れないと思います。

事務局 先に役員さんとお話させていただいたこととお話させていただいたのですが、地域の方は学校を残してほしいということは、どこもやっぱり同じだと思うんです。その時にお話しさせていただいたのは、小規模校は小規模校なりにメリットもあり、デメリットもあります。実際、小学校で言いますと複式学級が発生してもいい人数になっています。来年になると、もう一つ複式ができてもいいほど

の人数になっていますので、その辺りのことを十分に踏まえていただいた中で、学校の在り方についてのお話が聞けたらと思っております。

委員 適正人数と言いますかね、子どもの教育、特に義務教育段階において、やっぱりある程度的人数の中で人間関係を築いていくという点は、学力とは別の面で非常に大事なことなので、この状況になるとはっきり言って非常に厳しいと思うんです。基本的には、ある程度人数が揃うような環境が望ましいというのがまず大前提なので、けども、それを覆すだけのメリットが、この人数で、小規模のままここにあるのが良いという場合のみ、ここだけ残しても良いという話になると思うんです。そうでないと、学校を残すことが目的になったらだめだと思うんです。あくまでも手段であって、そこに通う子ども達が、適正な教育、人間関係も含めてということで考えると、なかなか地元から小学校、中学校に、ということは厳しい話ですけども、無理やり残すっていうのは、子どもの教育のためにちょっと厳しいのではないかということが1点。それから、これ、徐々に下がっていくし、先ほど教育長もおっしゃったのですが、光都学園の人数は上乘せしていませんが、普通に考えたら、中学校3学年で小学校6学年だから、底打ちした段階で中学校の半分の人数になりますよね。中学校の方が早く危機が来る可能性があると思うんですけども、例えば、ここまで減ってしまったら、この人数を県立の、県立大の中学校に地元枠で入れてもらうっていうのは、どうなのでしょう、可能性としてはないんでしょうかね。

教育長 可能性としては限りなく低いと思います。受験して基準を超えると入学できるということがありますが、それなしで光都の子どもが、同じ光都でありますのでそこへ入れてもらうということは、かなりハードルが高いです。

委員 そういう例は、どこもないですか。

教育長 附属中学校ができる時に、そういう提案というか、そういうことも話題に上ったらしいのですが、当時はまだ東中の生徒もいますし、地元の方がそれは反対という形で断っているんです。それは、向こうからオファーがあったんですけども、附属は附属で学級増というか、それを考えておられるのですが、去年から寮を作って県下どこからでも通えるようにして生徒を集めていて、倍率も2倍を超えていますのでね、そこに光都の子どもを地元枠で、ということは難しいと思います。

千種高校は、高校に来る子は千種中学校の子がほとんどで、宍粟市の千種中以外の子どもも何人か来ているのですが、元々入ってくる子どもが少ないということで、千種高校と千種中学校、県教育委員会と宍粟市教育委員会で連携校という仕組みを作っています。それは基本的には、千種中の子は希望すれば千種高校に入れるという、そのような制度を作っています。他、但馬の方でもそのような学校がありますが、それは上の学校というか、そこに人を集めたいというニーズが

あれば、人を集めるために、ということなのですが、附属中学校は今のところ子どもを集めるのに苦労していないようです。

委員 論理的に考えたら難しいと思うのですが、この狭い地域で、すごく子どもが少ない地域で、なぜ中学校が2校もあるのだらうと。ちょっと離れたところから見ると、そういう風にも思えるところがありますからね。

管理者 他に何かご意見はございませんか。  
ないようでしたら、ここで協議事項につきましては終わらせていただきたいと思うのですが、よろしいですか。  
それでは事務局へお返しします。

事務局 山本管理者、ありがとうございます。  
本日ご協議いただきました内容や意見につきましては、学校へも伝えさせていただくなどしまして、今後の教育委員会、学校運営に活かさせていただこうと思います。ありがとうございます。  
それでは閉会にあたりまして、梅田副管理者よりご挨拶をお願いします。

副管理者 本日は、皆様大変お忙しい中お集まりいただきまして、熱心な議論をいただき、誠にありがとうございます。  
9月末となり、令和5年度の上半期を終えようとしております。また、これからの時期、各地において各種行事が開催されるとともに、学校におきましても運動会をはじめ、行事が通常、コロナ前に戻りつつあります。児童生徒の頑張っている姿を、保護者や地域の皆さんにご覧いただける機会ができること、大変に嬉しく思っております。  
しかしながら、新型コロナウイルスは、まだまだ流行しております。学校現場におきましても、コロナ対策を行いながら、子どもたちの安全を守り、学びの充実とそれを支える学校の環境づくりに、日々御尽力いただいているのではないかと思います。  
そういった中、今日は様々な課題に対してご意見をいただきました。これからも、魅力ある教育に向けまして、保護者や地域の皆さんの意見を聴きながら、皆さんと一緒に取り組んでいく必要があるかと思っております。  
委員各位におかれましては、今後とも、播磨高原の教育に対しまして、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。  
本日は誠にありがとうございます。

事務局 ありがとうございます。  
それでは、以上をもちまして総合教育会議を終了とさせていただきます。本日は、ありがとうございます。

(15 時 28 分 閉会)